

## 単元案の概要

テーマ
スーパーのチラシをみて、中国の商習慣を知り、買い物情報を伝えよう
目標
学習レベル 2～3 中国のスーパーなどでよく見られる商売の方法を理解し、自分でも使いこなせるようになり、中国へはじめていく人も買い物(特に食べ物)で困らないように、『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を作成する。
コミュニケーション能力指標
食 1-k(改) 自分の好きな食べ物や味、嫌いな食べ物や味について口頭で伝えることができる。 食 2-g 自分の食生活について、口頭で説明できる。 食 2-h 日本と相手の国それぞれの年中行事で何を食べるかについて写真などを見せながら口頭で紹介しあうことができる。 食 3-c(改) 日本の代表的な料理や食材、自分の住んでいる地域の料理や食材について、口頭または文章で紹介できる。 食 3-d 日本と相手の国の食文化について、紹介文を書くことができる。 食 3-f 日本と相手の国の食文化について、会話できる。 買い物 1-a(改) 中国語で書かれたチラシをみて、自分が買いたいものを探することができる。 買い物 1-b 基本的な接客表現を、聞いて理解できる。 買い物 1-g 広告やカタログを見て、買いたいもののリストを作ることができる。 買い物 2-b 価格の決め方に関する表示を見て、理解できる。 買い物 2-e 商品について感じていることを、口頭で伝えることができる。 買い物 2-f 買い物の情報を口頭または書いて、教えてもらったりアドバイスしたりできる。
学習シナリオ
◎◎大学で、中国語を学ぶ学生たちは、学習一年後、中国へ行くカリキュラムをもつ。中国へ行って、かならず起きる「買い物」というタスクを自分もちろん、他人にも成就してもらうために、日本の買い物文化と中国の買い物文化を比較し、その中で違いを知り、異文化ギャップを埋める作業する。 そのために、 ■チラシ観察—プレゼン ①まず、日本のスーパーのチラシをみながら、どういう売り方をしているのか、日本の買い物文化、生活文化、食文化、その他気になるところを抜き出してもらおう(非ネイティブ話者から何が不思議かというリサーチも行う)。②次に、中国のスーパーのチラシをみて、同様に中国の買い物文化、生活文化、食文化、その他気になるところを抜き出してもらおう(ネイティブ話者への確認、予備知識情報の確認)。 ③①と②をそれぞれ取りまとめて、手分けした分野で発表をする。(評価①) ■実用レベルへの発展—プレゼン

④会話レベル：中国で実際に買い物をするときに必要な点や覚えておくべきフレーズやキーワードをあげて、実用的なやりとりを考える。⑤読解レベル：中国のチラシでよく見るフレーズ、キーワードの中でも音読できなくてもいいが、ビジュアルで覚えておくべきものについてまとめる。

⑥④と⑤でリサーチしたものの発表。(評価②)

⑥上記作業を洗練させたのち、日本の商習慣との違いを意識しながら、『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を作成(この段階まだグループ別になっていても構わない)。

⑦完成した『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』は今後中国へ行く仲間たちへ引き継がれて、年々バージョンアップしていく予定。

#### 総括的評価

- ・ 非日本語母語話者から聞いたり、自己で気づきながら日本のスーパーのチラシの特徴を紹介することができる。そのプレゼンの内容や方法を互いに評価しあう。
- ・ 中国のスーパーのチラシをみて、自己で気づいたり、また気づいたことを中国語母語話者からリサーチすることで、中国のスーパーのチラシの特徴を理解し、紹介することができる。そのプレゼンの内容や方法を互いに評価しあう。
- ・ 上記をふまえて、自分たち以外の人たちにも簡明なハンドブックを作成し、その内容やまとめ方を評価する。
- ・ 気づきの活動を通して、それぞれの異同について気づいたことを評価する。

「外国語学習のめやす」 マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：愛知県立大学准教授 中西千香

3×3+3分析

テーマ:スーパーのチラシをみて、中国の商習慣を知り、買い物情報を伝えよう

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーのチラシから得られる名詞、量詞、お得感を表すフレーズなどを知る。</li> <li>スーパーのチラシ特有の商習慣を知り、関連する会話表現を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーのチラシを観察、分析する中で、日本人や中国人の商習慣、食習慣や生活的、文化的習慣を知り、共通点や相違点を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と中国、両国間の相違点を意識しながら、互いに交流することの重要性を知る。</li> <li>日本に暮らす外国人が何に困っているかを知る中で、外国に住むことの大変さ、思いやりの心を知る。</li> <li>IT を駆使すれば、ある程度の交流と知識吸収が可能であることを知る。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語や中国語のスーパーのチラシの表現など言語情報を理解し、読解できる。</li> <li>上記情報を理解したうえで、会話レベルでのやりとりができる。(仲間、店員)</li> <li>上記情報を理解したうえで、文字化をして、まとめて、ハンドブックを作成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーのチラシを観察、分析する中で、日本人や中国人の商習慣、食習慣や生活的、文化的習慣を知り、共通点や相違点を理解し、分析できる。</li> <li>上記分析を経たうえで、異文化ギャップの可能性を理解し、相手を思いやった行動が何であるか理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサーチ能力向上:個々でよりの確な情報を迅速に調べていくことができる。また、Web やアプリの情報を利用して、最新の情報を知ることができる。</li> <li>情報理解、分析能力向上:情報を的確に理解することができ、細かな分析ができる。分析=気づきである。気づきが多いと相手を受け入れる能力も高まる。</li> <li>情報、分析結果の集約と再確認:グループ作業の中で、互いの情報をまとめることできる。円滑な議論を行い、冷静に互いの見方を話し合うことができる。また、情報の真偽を探究することができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間との交流。</li> <li>日本語非母語話者との交流</li> <li>中国人との交流(国内、現地)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国人を含む日本語非母語話者の日本での暮らしの困難な点を知り、交流できる。</li> <li>現地で、中国人と異文化ギャップ意識して、やり取りができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドブックを公開し、より多くの知識を発信していく。また更新をしながらより理解を深める。</li> <li>実際に現地に行き、ハンドブックの理解を土台に、さらなる見識を広げる。</li> </ul>
三連携	<p>連携1:既習内容とチラシなどレアリアとの連結=外の本物との出会い。</p> <p>連携2:地域の外国人、中国人とつながる。</p> <p>連携3:学んだことをふまえて、現地で生活をする。異文化ギャップの調整をする。</p>		

目標の要素分析

テーマ:スーパーのチラシをみて、中国の商習慣を知り、買い物情報を伝えよう

個々のタスク	小目標	中目標	大目標		
日本のスーパーで想定される販売の方法、ものの名前、度量衡、単位表示、買い物の際に必要なルールを考える(チラシも参考にする)。	日本語非母語話者の意見を聞きながらどこに困難があるのか、イメージしながら、プレゼンをする。映像資料なども効果的に利用して、わかりやすいプレゼンにつとめる。同時にWebやアプリなどで、最新情報最新の傾向を確認する。(評価①)	左記、小目標をふまえて、日本と中国の買い物文化、食文化、商習慣の違いを意識して、私たちが現地(中国)へ行ったときに(特に食に関わる場所に)困らないように、細かく語彙、フレーズ、会話、文化的、習慣的な特徴を説明、項目ごとに成文化していく。簡明さのために、目次、レイアウト、画像資料での効果など、細部にわたって、気を配る。(評価②)	中国のスーパーなどでよく見られる販売の方法を理解し、自分でも理解できる、使いこなせるようにする。また、中国へはじめていく人も買い物で困らないように、『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を作成する。  状況設定:◎◎大学で、中国語を学ぶ学生たちは、学習一年後、中国へ行くカリキュラムをもつ。中国へ行って、かならず起きる「買い物」というタスクを自分はもちろん、他人にも成就してもらうために、日本の買い物文化と中国語の買い物文化を比較し、その中で違いを知り、異文化ギャップを埋める作業する。また、最終的には『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を完成させる。		
日本のスーパーで知ることができる日本の食文化について考える(チラシも参考にする)。					
日本のスーパーでみられる季節のイベントについて考える(チラシも参考にする)。					
日本のスーパー頻出の宣伝文句を収集する。					
中国のスーパーで想定される販売の方法、ものの名前、度量衡、単位表示、買い物の際に必要なルールを考える(チラシも参考にする)。	中国語母語話者に記載事項、生活的、文化的背景など意見を聞きながら、左記リサーチの分析結果を踏まえて、必要な語彙やお得感を表すフレーズ、ビジュアルでわかった方がいい表現などについてまとめてプレゼンをする。映像資料なども効果的に利用して、わかりやすいプレゼンにつとめる。同時に Web やアプリなどで、最新情報、最新の傾向を確認する。(評価①)			左記、小目標をふまえて、日本と中国の買い物文化、食文化、商習慣の違いを意識して、私たちが現地(中国)へ行ったときに(特に食に関わる場所に)困らないように、細かく語彙、フレーズ、会話、文化的、習慣的な特徴を説明、項目ごとに成文化していく。簡明さのために、目次、レイアウト、画像資料での効果など、細部にわたって、気を配る。(評価②)	中国のスーパーなどでよく見られる販売の方法を理解し、自分でも理解できる、使いこなせるようにする。また、中国へはじめていく人も買い物で困らないように、『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を作成する。  状況設定:◎◎大学で、中国語を学ぶ学生たちは、学習一年後、中国へ行くカリキュラムをもつ。中国へ行って、かならず起きる「買い物」というタスクを自分はもちろん、他人にも成就してもらうために、日本の買い物文化と中国語の買い物文化を比較し、その中で違いを知り、異文化ギャップを埋める作業する。また、最終的には『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を完成させる。
中国のスーパーで知ることができる日本の食文化について考える(チラシも参考にする)。					
中国のスーパーでみられる季節のイベントについて考える(チラシも参考にする)。					
中国のスーパーのチラシで頻出の宣伝文句を収集する。					

評価ルーブリック

活動①テーマ：日中スーパー比較—プレゼン

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
内容・構成	時間配分を守り、なおかつ内容も無理なく充実していて、わかりやすい。また、リサーチ分析の深さも感じられるものであった。	時間配分を守り、なおかつ内容も充実して、わかりやすい。	必要な発表はできた。しかし、時間配分が長かったり、短かったり、やや準備不足であった(1分以内の不足またはオーバー)。	必要な発表はできた。しかし、時間配分が長かったり、短かったり、やや準備不足であった(1分以上の不足またはオーバー)。
話法	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えている。なおかつ、抑揚をつけて、相手に伝えようとする工夫をしている。	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えている。	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えようとしているが、ところどころ、停顿があり、ややわかりにくい。	原稿の棒読みや、言いよどみがあったり、声が小さいなど、伝えようとする気持ちが弱い。
プレゼン技術 ×2	相手にわかりやすいプレゼン技術を持っている。画像や表などを使ってできている。さらにわかりやすく、聴衆を引き付ける工夫がなされている。	相手にわかりやすいプレゼン技術を持っている。画像や表などを使ってできている。	相手にわかりやすいプレゼン技術で伝えようとする努力は見えるが、やや無駄があったり、効果的に画像や表などをつかえていない。	相手にわかりやすいプレゼン技術で伝えようとする努力に欠ける。
グループワーク	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされている。誰かに偏るということはない。なおかつ、それぞれの責任を持ち、個性が発揮されている。	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされている。誰かに偏るということはない。	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされているが、やや個人に仕事偏っている。	誰かに偏り、協力する体制がプレゼンから見られない。
合計				/20点

活動② ①の活動をふまえて、現地へ行ったときに必要な知識、語彙、表現をより具体的に示していこう。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
内容・構成	時間配分を守り、なおかつ内容も無理なく充実していて、わかりやすい。また、リサーチ分析の深さも感じられるものであった。	時間配分を守り、なおかつ内容も充実して、わかりやすい。	必要な発表はできた。しかし、時間配分が長かったり、短かったり、やや準備不足であった(1分以内の不足またはオーバー)。	必要な発表はできた。しかし、時間配分が長かったり、短かったり、やや準備不足であった(1分以上の不足またはオーバー)。
話法 ×2	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えている。なおかつ、抑揚をつけて、相手に伝えようとする工夫をしている。中国語の紹介もちりばめられ、抑揚があり、きれいな発音で滑らかに話している。	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えている。中国語の紹介もきれいな発音で滑らかに話している。	よどみなく、滑舌よく、わかりやすい表現で伝えようとしているが、ところどころ、停顿があり、ややわかりにくい。中国語の発音に若干問題がある。	原稿の棒読みや、言いよどみがあったり、声が小さいなど、伝えようとする気持ちが弱い。
プレゼン技術	相手にわかりやすいプレゼン技術を持っている。画像や表などを使ってできている。さらにわかりやすく、聴衆を引き付ける工夫がなされている。	相手にわかりやすいプレゼン技術を持っている。画像や表などを使ってできている。	相手にわかりやすいプレゼン技術で伝えようとする努力は見えるが、やや無駄があったり、効果的に画像や表などをつかえていない。	相手にわかりやすいプレゼン技術で伝えようとする努力に欠ける。
グループワーク	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされている。誰かに偏るということはない。なおかつ、それぞれの責任を持ち、個性が発揮されている。	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされている。誰かに偏るということはない。	しっかりと仲間と協力をして、リサーチ分析がなされているが、やや個人に仕事偏っている。	誰かに偏り、協力する体制がプレゼンから見られない。
合計				/20点

■指示文(プロジェクト開始時)

一年後に計画されている中国滞在、それぞれがそれぞれの地域へ旅立ちます。これからこのクラスでは、日本の買い物文化と中国の買い物文化を比較します。買い物と一口に言っても、今回は必ず必要になるだろう、食材、食べ物を買う場合に限ります。

まず、自国(日本)の買い物ルールの特徴についてみます。日本に住む外国人は、日本の買い物ルールのことをどう思っているでしょうか。リサーチしながら、日本の買い物文化の特徴を考えます。また同時に、中国での買い物のルールやスーパーのチラシを調べて、まわりの中国語母語話者に聞きながら、分析し、中国の買い物文化の特徴を考えます。

次に、上の作業をふまえて、中国で生活する際に、想定可能な範囲での会話表現、買い物のために知っておいた方がよい語彙や表現についても、まとめます。この作業の中でも、まわりの中国語母語話者に確認をしながら、まとめて、それぞれプレゼンをしてもらいます。

最終的には、みなが日本との比較をふまえて、みながそれぞれの場所へ飛び立っても困らないように『中国 de 買い物ハンドブック(食生活編)』を作成します。自分のため、仲間のために、後輩のために、充実したハンドブックを作成していこう。以下の手順で行います。活動とそのヒントをいかに示します。

■活動①日本や中国のスーパーのルールについて考えてみよう(参考)

<p>【日本のスーパー】確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•どんな名前がみえますか。</li> <li>•いくらで売られていますか。</li> <li>•季節感のある食材はありますか。</li> <li>•日本らしい食べ物はありますか。</li> <li>•面白いネーミングの食べ物、商品はありますか。</li> <li>•どんな単位を表す語がありますか(パック、束、袋…)</li> <li>•どれくらいの量で売られていますか。</li> <li>•お得感はどうやって示されていますか。</li> <li>•どんな売り方をして、買ってもらおうとしていますか。(お一人◎個限り、おつとめ品、サービス品)</li> <li>•季節の年中行事は、スーパーで感じることはできますか。できるとしたら、それは、どんな行事ですか。</li> <li>•年中行事と関連する食べ物はありますか。</li> <li>•どんな言葉が外国人にはわかりにくそうですか。実際にまわりの外国人に聞いてみよう。</li> <li>•袋は有料? 無料? 有料ならいくらですか。</li> <li>•その他、日本の文化を感じられる表現はありますか。</li> </ul>	<p>【中国のスーパー】確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•どんな名前がみえますか。</li> <li>•いくらで売られていますか。</li> <li>•季節感のある食材はありますか。</li> <li>•中国らしい食べ物はありますか。</li> <li>•面白いネーミングの食べ物、商品はありますか。</li> <li>•どんな単位を表す語がありますか(パック、束、袋…)</li> <li>•どれくらいの量で売られていますか。</li> <li>•お得感はどうやって示されていますか。</li> <li>•どんな売り方をして、買ってもらおうとしていますか。</li> <li>•年中行事は、スーパーで感じることはできますか。できるとしたら、それは、どんな行事ですか。</li> <li>•年中行事と関連する食べ物はありますか。</li> <li>•どんな言葉が私たちにわかりにくいですか。</li> <li>•袋は有料? 無料? 有料ならいくらですか。</li> <li>•その他、中国の文化を感じられる表現はありますか。</li> <li>•リサーチしたものがどうしてそうなのかネットや周りの中国人に聞いて確認しよう。</li> </ul>
---	--

【プレゼンの仕方】

- パワーポイントやポスター発表など、表現の仕方は自由です。図解や表などを使って工夫もしてください。
- 制限時間は 20 分です。時間配分も考えて、プレゼンの練習をしっかりと、短かったり、オーバーしないように。

■活動② ①の活動をふまえて、現地へ行ったときに必要な知識、語彙、表現をより具体的に示していこう。

リサーチのポイント(参考): 調査は、紙媒体のチラシ、スマホのアプリやネットの Web チラシなどを利用しましょう。

- 名詞: 生活に必要なような語彙を選んで、ある程度のカテゴリーにわけて、みんなに紹介しよう。
- 量詞: 既習のもの、まだ習ってないものに合わせて、量詞を紹介しよう。
- どれくらいの量で売られていますか。量り売りのシステムはどんな食材に見られますか。
- 日本ではみないパッケージのものはありますか。
- お得感を表す表現のパターンを調べて、グループ分けして紹介してみよう。
- 袋は有料でしたか? 無料、有料という表現は知っておいたほうがよさそうですね。周辺的に知っておいた方がいい語彙や表現をリストにしてまとめてみよう。
- 上記事項で実際にできそうな簡単なスキットを作ってみよう。
- 年中行事とそこから見えるものをまとめてみよう。
- その他、特記事項があれば、自由に紹介してください。一人で黙々と調べるのもいいですが、仲間と一つ一つの表現に対して、話し合いながら気になるところをあげてみよう。

【プレゼンの仕方】

- パワーポイントやポスター発表など、表現の仕方は自由です。図解や表などを使って工夫もしてください。
- 日本語での発表でも構いませんが、今回はできるだけ中国語の比率をあげましょう。特に、中にでてくる、語彙、表現、スキットは中国語で話そう。
- 制限時間は 25 分です。時間配分も考えて、プレゼンの練習をしっかりと、短かったり、オーバーしないように。